

YAMATO Leaf Archive



2003.5.9 GUℳ. *

2024年5月

葉画家・群馬直美の「葉っぱアーカイブ」Vol.30

《葉画家・群馬直美がこれまでに描いた絵とエッセイをお楽しみください》

—♪ 絵と文 群馬直美 ♪—

アトリエ階下の住人たち《ユキノシタの葉》

自身の足元をもっとしっかりと見つめたい。

そんな思いもあり、葉っぱ一枚一枚を、ありのままに描き始めた。

足元を見つめる旅は、今も延々と続いている。

何しろ、一歩踏み出すごとに無限大に広がってゆくのだ。足元の世界に、終わりはない。

いつでも何度でも、私は初心にかえり一枚の葉っぱと向き合う。

この葉っぱが描けるだろうか？

何十枚何百枚描いても、毎回そう思う。

同じ葉っぱはないのだから、当然だ。

「そうだ。アトリエ階下の住人たちを描こう！」

板を選んで、そのサイズに収まる葉っぱを探しに外へ出た。

すぐに、ユキノシタくんと目が合った。

階段脇の茂みで、「エヘヘ」と笑ってた。

私は、ユキノシタの葉っぱが大好きだ。

特にこの時期は、粹でカッコイイ。

明るいグリーンの地に、尾根に積もった雪を思わせる白い葉脈模様が走り、

赤っぽい毛が生えている。天ぷらにして食べてもおいしい。

ユキノシタという詩情豊かな名の由来には二説ある。

五月～七月に葉を見下ろすように咲く白い花を雪に見立て、

2003.5.9 GUMA.半

緑の葉が雪の下にあるようだから。

もう一つは、冬、雪の下でも枯れずに残っていることから。

さて、アトリエのユキノシタくんはといえば、

数年前からみんなの仕事道具の下敷きになりながらも、

春になると続々と元気な姿を、荷物の下から現すのだった。さすがだ。



《表紙の絵》ユキノシタの葉

「白い葉脈模様が尾根に積もった雪のよう」

・アトリエ階下の茂みにて 2003年5月6日採集
(作品の完成日は2003年5月9日 作品NO.227)

・板/テンペラ

・size:約112mm×92mm

©Naomi Gumma

群馬直美 GUMMA NAOMI プロフィール

高崎市生まれ。1982年、東京造形大学絵画科卒業。在学中に新緑の美しさ、その生命力に深く感動された経験から、「葉っぱ」をテーマとする創作活動に入る。「葉っぱの精神—この世の中の一つ一つのものは全て同じ価値があり光り輝く存在である」に則り、1991年テンペラで克明に描く現在の作風に至る。著書に『言の葉 葉っぱ暦』『群馬直美の木の葉と木の実の美術館』『葉っぱ描命』他。東京都立川市在住。<https://www.wood.jp/konoha/>